

❖大阪府本部会員の 皆さまへ

全日本写真連盟大阪府本部 委員長
難波正次

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大で大阪府本部の各種行事が中止または撮影会をテーマコンテストへ切り替えなど大きく影響が出ました。

新型コロナウイルス変異種の拡大が気になりつつもワクチン接種がスタートし、今年度こそコロナウイルスとの共存を考えながら、5・6月号でお知らせした行事予定でしたが、残念ながら春の撮影会・夏の撮影会を2年連続で中止せざるをえませんでした。

国は65歳以上のワクチン接種を7月中に終わらせたいと発表しており、それまでは大阪府本部主催の多人数での撮影会や会議などは自粛したほうが良いのではないかと考えます。

私たち一人一人もコロナ下での「慣れ」に注意しないとイケません。

この1年数か月、アマチュアカメラマンの撮影環境も厳しくなりましたが、自粛中の気晴らしに密を避け自慢のカメラを持って、近場の散歩を楽しむのはいかがでしょうか？今まで見過ごしていた景色や意外な発見に出合えるかも知れません。四季を通じて私たちの住んでいる身の周りを見渡すと季節の移り変わりや街の変化も見られます。

大阪府本部の個人会員の方々や各支部会員の皆様も撮影会や例会など自粛せざるを得ない時期がまだまだ続きそうです。

皆様におかれましても感染には十分注意し、写真を楽しんでください。



第28回 全日本シニア写真コンテスト

作品募集

写真家のハービー山口さんを審査委員長にお招きし、下記の通り作品を募集しています。自然現象や身近で感動したシーンなどテーマは自由です。奮ってご応募ください。

❖締切り

2021年9月30日（木）消印有効

❖応募料（応募点数に関わらず）

会員：1,000円、一般：2,000円

（定額小為替に限る）

❖応募資格

2021年12月31日現在で60歳以上の方

❖応募内容

◇四つ切りおよびA4サイズの単写真のみ
（四つ切りワイドは不可）、一人5点まで。

◇本人が撮影したもので、未発表の作品に限る。

❖応募方法（応募作品は返却しません）

応募申込書および応募票（コピー可）に必要な事項を記入の上、応募票を作品裏面にセロハンテープを輪にして貼付し、

応募申込書と応募料（定額小為替）を同封して送ってください。

❖送付先・問合せ先

〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18-15F
全日本写真連盟大阪府本部「第28回シニア写真コンテスト」係

◇問合せ（メールのみ）

nissyaren@osaka.email.ne.jp

応募詳細については、チラシまたは全日写連大阪府本部ホームページをご覧ください。

モノクロームに魅せられて I

全日写連総本部理事 林 栄之

私の叔父は今宮職工学校(現今宮工科高校)を卒業し写真の道を志すも夢かなわず役人になり生涯を終えた人であったが、亡くなる1年ほど前、愛用のアサヒペンタックスSPを私に譲り、写真に目を向けさせるきっかけを与えてくれた。

学生時代に先輩からフィルム現像や引き伸ばしの手ほどきを受け趣味は写真になった。暗室で現像液から浮き出す画像へのドキドキワクワク感が病みつきとなり、現像や引き伸ばしの時間・現像液・印画紙やフィルムの違いで仕上がりが違ってくる奥の深い世界であり、撮影・フィルム現像・プリントまですべてを自分で処理し、自分のイメージを視覚化できるという魅力に取りつかれて約40年、銀塩モノクロ写真を楽しんできた。

2000年来デジタルカメラを使い始めたもののモノクロデジタルプリントには違和感があり、モノクロだけは銀塩に拘ってきたが色転びの少ないエプソンPX5500を購入して以来、同じプリントができない銀塩とは違い同じプリントができるデジタルプリントの手軽さから2005年を境に暗室は明室に変わった。

この時からデジタルモノクロの迷路に入り込んでしまう。まず撮影時からモノクロに設定するのかカラー画像をモノクロ変換するのか。カラー画像をモノクロ変換の方法にもモードをグレースケールでいいのか、色調補正で彩度を0にするのかチャンネルミキサーを使うのか。試行錯誤の結果この迷路から抜け出す道を見つけた。

まず撮影はカラーで撮影する。カラーのほうが情報量は多いので階調や濃度の幅が広いし色に対する調整がしやすくレタッチがやり易いという理由です。カラー画像をいきなり

モノクロに変換するのではなくカラー画像をきちんとレタッチをしたうえで複製画像を作りモノクロ変換を行います。

フォトショップのメニューバー「イメージ」から「色調補正」に進むとCS3以降では「白黒」という項目があり、そのなかプリセットにはかつてモノクロフィルムでの撮影時装着していたレッド・イエロー・グリーンフィルターがあります。効果が簡単に確認もでき適用できるのでとても便利でお勧めです。

チャンネルミキサーも同じようなフィルター効果を出せます。

例えば比率はR30G60B10 合計を100にしてモノクロにチェックでノーマルのモノクロになります。フォトショップエレメンツにはメニューバー「画質調整」の「モノクロバリエーション」にスタイルを選択という中にスナップ・ポートレート・風景等がありチャンネルの適用量が調整され先述のフィルター効果が適用されます。

銀塩モノクロの経験がない方にはそのフィルター効果も良く分からない。カラーで見ているものをモノクロではどう写るのかイメージがわからない方にお勧めはミラーレスカメラでモノクロ設定にして撮影することです。ファインダーでモノクロ画面を見ることもできるし、メーカーによってはモノクロ用フィルター効果を選択でき、黄色フィルターで人物の肌を明るく、赤フィルターで空の色を暗くするという一味違ったモノクロ作品が簡単に作れるのです。

問題はこのデータをいいモノクロプリントにすることにあります。モノクロプリントについては次回にしましょう。

(続きは9・10月合併号をご覧ください)



ホームページ活用のススメ

新型コロナ蔓延で苦しむ中でワクチン接種が進んできたのは朗報です。誰かの言葉で、「奪い合えば無くなる、分け合えば足る、譲り合えば余る」というのがあります。なかなかの言葉ではないでしょうか。

コロナの影響で、人の流れを少しでも少なくするために仕事や授業がオンラインで行われる場合も多くなってきました。写真を撮っているおかげで、やっとパソコンを使いこなせるようになってきたかなと思ったら、世の中は買い物から遊び、お金儲け、出会い系までオンラインだリモートだと、高齢者にとって再びハードルが高くなってきた。

全日写連でもコロナ感染拡大に制約されて、せっかくのコンテスト入賞発表会や講評が中止の場合も多い。

それらに対応して、ホームページも充実？を図っているのも、もっと活用していただけないものかと思っています。今までは入賞作品の写真を掲載しているだけだったが、今はコンテストの講評を動画にしたり、大阪府本部で開催された山本学先生の風景写真講座もYouTubeで載せています。(写真下)

全日本写真連盟で検索をかけていただくと右側に赤い矢印の「動画のご案内」というのがあります。そこをクリックすると、関西本部・大阪府本部関係の審査現場や作品講評が出てきます。それだけではなく、関東本部委員長の佐藤親正先生による色々な講座も見ることができます。ぜひ見てください。



「風景写真フォト講座」紅葉の撮り方 大阪・池田の久安寺 山本学先生が詳しく指導

4.797 閲覧数・2020/12/22

👍 35 🗨️ 3 ➡️ 共有 三、保存 ...

●2021年度 風景写真フォト講座 受講生募集

昨年の秋、風景写真家の山本 学先生を講師にお招きして風景写真フォト講座が開催されました。今年も引き続いて、講義と実習（撮影会）を下記の要領で行います。

よろしくご参加ください。ご応募をお待ちしています。

・日 程

- 1回目 9月18日（土）講義
- 2回目 10月16日（土）実習
- 3回目 11月 6日（土）講義
- 4回目 11月27日（土）実習
- 5回目 12月 4日（土）講義

・時 間 13：00～16：00

・講 師 山本 学氏

写真家 日本写真家協会（JPS）会員

・講義会場 大阪市北区中之島フェスティバルタワー12階 会議室（予定）

・募集人数 20人（先着順）

・申込み期限 7月30日（金）必着

・参加資格 どなたでも

・参加費 会員 7,000円 一般 10,000円

（全日本写真連盟2021年度後期入会金含む）

・申込方法 郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・会員番号（会員の方）・携帯番号・メールアドレスを明記して、メールかはがきで申し込んでください。

（後日振込用紙をお送りします）

・申込先

メール nissyaren@osaka.email.ne.jp

はがき：〒530-0005 大阪市北区中之島

2-3-18 中之島フェスティバルタワー15階

全日本写真連盟大阪府本部

「風景写真フォト講座」係

詳しくはチラシまたはHPをご覧ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止や内容を変更する場合は全日本写真連盟大阪府本部のHPに掲載しますのでご確認ください。

読者の広場



↑写団清朋作品展より かなん写真クラブの太田秀司さんの作品「収穫」(2枚組)

棚田にはノスタルジアを感じ、田植えや収穫の時期には撮影に度々出かけます。その中で、この写真は秋の収穫時期に大阪府千早赤阪村の棚田(日本の棚田百選)で夕暮れに撮影したものです。その日の棚田には、人影が少なく農家の人が遅くまで農作業されているところに偶然出会いました。そこには懐かしい秋の風情、農家の営みがあり、それらの情景を季節感や雰囲気がある写真にできればとの思いで撮りました。



全日本写真連盟 大阪府本部事務局

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18
中之島フェスティバルタワー15F
Tel 06-6201-8006 Fax 06-6201-0285
メール…nissyaren@osaka.email.ne.jp



↑茨木支部写真展より
西村圭司さんの作品「残雪」

5月の中頃、新潟県大蔵寺(だいごんじ)高原でのブナ原生林の残雪を数カット撮影した中からの作品です。

写真展のご案内

◎第37回 枚方写真クラブ展

8月27日(金)～9月1日(水)

枚方市民ギャラリー(サンプラザ3号館)

○お願い

新型コロナの感染拡大で、写真展が間際になって中止や延期になる場合もありますので、大阪府本部のホームページでお確かめの上お出かけください。

●第81回 国際写真サロン

入選者のご紹介(作品はHP参照)

国内からの3862点を含め、総計11,841点の応募作品が集まりました。国内入賞作45点の内、大阪府から3人が選ばれています。

おめでとうございます。

- ・山本桂子「晩夏の海」
- ・浅野和夫「夏の思い出」
- ・井上美穂「dive」

●おわび

7月19日に「夏の撮影会」として予定していましたモダンバレー撮影会は、新型コロナが未だおさまらず、中止とさせていただきます。